



2022年7月15日

各 位

会 社 名 モ ビ ル ス 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 井 智 宏  
 (コード番号: 4370 東証グロース)  
 問 い 合 わ せ 先 取 締 役 C F O 加 藤 建 嗣  
 TEL. 03-6417-9523

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年7月15日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年10月15日の2021年8月期決算発表時に開示した2022年8月期(2021年9月1日~2022年8月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正(2021年9月1日~2022年8月31日)

単位: 百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	1,506	280	282	212	40.8
今回修正予想(B)	1,586	200	193	129	22.1
増 減 額 (B - A)	80	△80	△89	△83	
増 減 率 ( % )	5.3	△28.6	△31.6	△39.2	
(参考) 前期実績 (2021年8月期)	1,235	134	146	133	25.6

#### 2. 修正の理由

今回の修正は、第3四半期までの業績の反映及び売上予測と投資予定費用の見直しを行った最新の業績予想を織り込むものです。

売上高は、当初計画と比べて既存ユーザーの利用度合いが高まったことによるSaaSサービスの従量課金売上の増加、既存ユーザーのさらなる運用の効率化や利用度合いの向上を目指したプロフェッショナルサービスの受注の増加、イノベーションラボサービスでの新規顧客からの案件受注等により、前回発表予想と比べ80百万円増加し、1,586百万円となる見通しです。

利益項目について、営業利益は、前回発表予想と比べ80百万円減少し、200百万円となる見通しです。なお、営業利益率は今回修正予想にて12.6%となる見通しです。前期実績と比較した営業利益率の推移は以下の通りです。

	前 期 実 績	前 回 発 表 予 想	今 回 修 正 予 想
営 業 利 益 率	10.9%	18.6%	12.6%
前 期 実 績 か ら の 増 減	-	+7.7%	+1.7%

営業利益の減少に伴い、経常利益は前回発表予想と比べ89百万円減少し、193百万円、当期純利益は前回発表予想と比べ83百万円減少し、129百万円となる見通しです。これは、サブスクリプション売上に比べて原価率の高い製品・サービスの売上の構成割合が高まったことによる原価率の上昇やセキュリティ機能強化のための既存製品改修費用を計上したことによる売上原価の増加、戦略変更に伴いより効果的なリードを獲得するためのマーケティング活動の強化および営業力強化のための人材投資による販管費の増加等によるものです。これらの売上原価および販管費の増加は主に当社営業戦略の転換に起因するものであり、売上貢献には至っていないものの案件パイプラインの状況から、戦略転換の効果は十分に期待できるものと見込んでおり、2022年8月期第4四半期以降においても現行戦略の推進・強化に向けて以下の分野での投資を計画しています。

<セールス&マーケティング（営業）分野の投資>

- ・大型パイプラインの拡充とその刈り取りのために営業体制拡充  
(2022年8月期第4四半期までに従来予算対比で増員)
- ・大企業・金融機関のリード拡充のための広告宣伝強化
- ・自治体向けビジネス構築に向けた準備
- ・商流強化に向けた代理店網の拡充
- ・カスタマーサクセスメニューの拡充および体制強化

<プロダクト&エンジニアリング（開発）分野の投資>

- ・セキュリティ機能を含めた開発体制拡充  
(2022年8月期第4四半期までに従来予算対比で増員)
- ・ボイスボットの自動化機能拡充
- ・当社独自のオペレーター支援AI「ムーア（MooA）」の追加開発

これらの投資計画の詳細は2022年8月期決算発表時に改めて中期経営計画として開示を行う予定です。今回の修正後の通期業績予想においても前年度対比では営業利益率は向上する見込みであり、中期経営計画においても高成長のための投資を行いつつ、かつ利益を創出し続ける事業運営を行う想定しております。

(業績予想について)

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上